



記者発表資料
平成22年7月7日
公立大学法人横浜市立大学
学術企画課長 白柳康夫
TEL 787-8929

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

【よこはま大学開港塾 第1回】2010年 APEC 横浜開催関連イベント アカデミック・コンソーシアム・国際シンポジウム 「持続可能な都市をめざして～大学の新たな役割～」を開催！

横浜市立大学は、2009年9月に創設したアカデミックコンソーシアム事業（※1）を、本学国際化事業の核と位置付け、世界銀行のEco2プログラム（※2）と公衆衛生をメインテーマとした国際シンポジウムを開催します。

重要な都市課題である、「環境」「まちづくり」「公衆衛生」をテーマとし、国内外大学の協力メンバーとテーマ別ユニットを形成し、都市が抱える諸課題の解決に向け、都市と大学がどのように協力していけるか、今後の活動計画についてAPEC参加国である中国・インドネシア・マレーシア・フィリピン・シンガポール・タイ・ベトナムにある大学の研究者を招いて議論します。これらのテーマは、10月のEco2 2010横浜および11月に横浜で開催されるAPECにも関連しており、広く市民の方々の理解を深めることを目的として市民公開型シンポジウムとして開催します。

※1：主にアジア地域における都市と都市にある大学、および世界銀行やJICAをはじめとした国際機関と連携し、都市が抱える課題を協働して解決することを目的とし、2009年9月CITYNET横浜大会にて設立（詳細は裏面を参照）

※2：エコロジカル（環境に配慮）でエコノミック（経済成長）な持続可能な都市社会を作るための世界銀行プログラム

【国際シンポジウムプログラム概要】（同時通訳あり）

開催日時 平成22年8月8日（日）13時～16時
テーマ 「持続可能な都市をめざして～大学の新たな役割～」
会場 パシフィコ横浜 会議センター501（横浜市西区みなとみらい1-1-1）
コーディネーター 横浜市立大学 准教授 上村雄彦
定員 200名（申込不要）



第1部 基調講演 13:00-14:30	講演者
「アジア太平洋における持続可能な都市の開発をめざして」	独立行政法人 国際協力機構(JICA) 副理事長 大島 賢三
「Eco ² Cities：環境と経済活動の調和した都市をめざして」 ーグローバルな都市化の時代における、世界銀行の戦略的対応ー	世界銀行 金融経済都市局 首席都市専門官 鈴木 博明
第2部 コンソーシアム活動説明 14:40-15:55	発表者
学生団体発表	横浜市立大学 学生団体 INUS
アカデミック・コンソーシアム	上村 雄彦（横浜市立大学 准教授）
「活動フレームについて」	「環境」比佐 章一（横浜市立大学 准教授） （青 正澄（横浜市立大学 教授））
「テーマ別活動内容の提案」	「まちづくり」鈴木 伸治（横浜市立大学 准教授） 「公衆衛生」水嶋 春朔（横浜市立大学 教授）

○ 取材については8月6日（金）までに、以下まで事前にお申し込みください。

学術企画課 国際化推進担当 TEL045-787-8929 FAX045-787-8907

E-mail: kokusai@yokohama-cu.ac.jp

裏面あり

【アカデミック・コンソーシアムについて】

1 背景

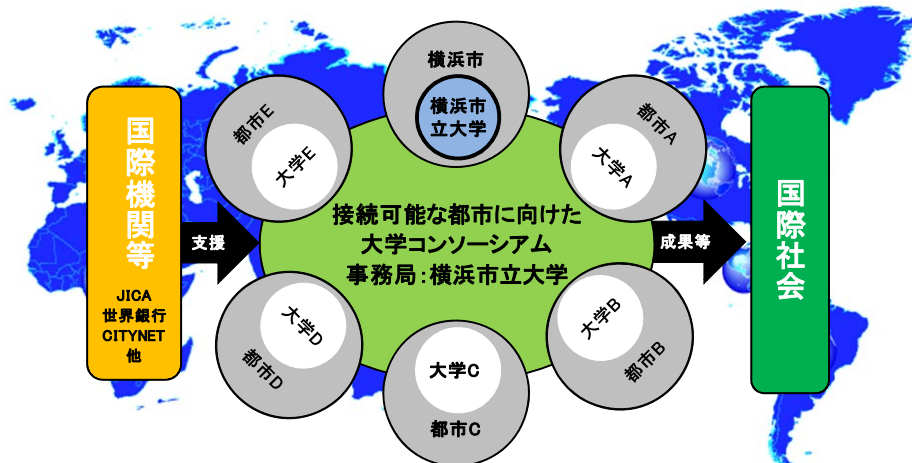
都市はさまざまな面で持続可能な地球社会の鍵を握っています。いまや世界人口の半分が都市に住み、世界の75%のエネルギーを消費し、75%の温室効果ガスを排出するなど、地球環境問題の大きな原因になっています。また、農村部から都市部への人口のシフトにより、とりわけ途上国ではスラムの拡大など都市において貧困問題や公衆衛生問題が蔓延し、深刻化しています。その他にも、都市景観、アメニティ、都市の環境・公害問題、都市の健全な経営など、解決すべき課題が山積しています。

国際社会においても役割を担う「都市の時代」に、都市に所在地を持つ大学も新たな役割が求められています。それは、知的リソースを持つ大学が、行政や国際機関等と協働し、各都市が直面する課題を解決することであり、その過程で行政や市民と有機的な関係を構築して、地域や世界に貢献する大学に生まれ変わることです。そして問題意識を共有する大学等が連携し、各大学・各団体が持つリソースを補完・融合し合うことで、複合化した都市の諸課題の解決、持続可能な社会の創造に効果的に貢献することができると考えます。

横浜市立大学は、このような問題意識を持って、アカデミック・コンソーシアム（持続可能な都市社会のための大学コンソーシアム）を創設しました。

2 目的

アカデミック・コンソーシアムの理念に賛同する大学の教員・研究者・学生・職員及び関連する国際機関等が相互に連携し、多様なステークホルダー間の協働を確立し、情報やリソースの共有、議論、調査、研究、プロジェクトを進めることで、都市の諸問題の解決、MDGs（国連ミレニアム開発目標）の達成、持続可能な社会の創造など、地域や世界に貢献することをコンソーシアムの目的とします。



参考資料

※ 基調講演 講演者プロフィール

○独立行政法人 国際協力機構 (JICA) 副理事長 大島 賢三 (おおしま けんぞう)



1967年4月東京大学法学部より外務省入省。経済協力局技術協力課長、同局政策課長、在米国大使館公使、国際協力事業団総務部長、アジア局審議官、経済協力局長、総理府国際平和協力本部事務局長、国連事務次長（人道問題担当）、駐オーストラリア大使、国連大使などを経て、現在、独立行政法人国際協力機構副理事長。

○世界銀行 金融経済都市局 首席都市専門官 鈴木 博明 (すずき ひろあき)



1975年横浜市立大学文理学部国際関係課程を卒業。海外経済協力基金 (OEFCF) で1986年世界銀行に出向。アフリカ地域、南アジア地域、東アジア太平洋地域の都市開発・公共セクターの融資案件を担当。2001年より東アジア地域都市部門リーダーと中国都市部門総括を担当。2009年より現職、世銀全体の都市環境、経済、ファイナンスを担当。